



受託資産残高が 4000 億円を突破しました

損保ジャパン日本興亜DC証券株式会社が受託した確定拠出年金プランの資産残高（個人別管理資産額）が、2015年2月末において、4000億円を突破いたしました。

創業以来、確定拠出年金プランの導入支援から運営管理までの包括的なサービスを1社で提供する「バンドルサービス」を採用し、きめ細やかなサービスとローコストの実現に努めてまいりましたが、おかげをもちまして、多くのお客さまからのご支持を賜り、受託資産残高は着実に伸び、ご加入者様も22万人を超えております。

今後も、公的年金制度や、企業における退職給付負担の見直し等を背景に、確定拠出年金制度は更なる普及が期待されています。

損保ジャパン日本興亜DC証券では、引き続き、システムやサービスの向上に努め、「お客さま評価日本一」と「業界トップクラスの受託実績」を目指してまいります。

今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上